

令和2年度
碧南市藤井達吉現代美術館
協議会資料

碧南市藤井達吉現代美術館
令和3年3月

目 次

1 議題

(1) 美術館運営方針及び事業概要	
①美術館運営方針.....	1
ア 基本理念	
イ 基本的性格	
ウ 組織	
エ 予算	
オ 施設	
②事業概要.....	4
ア 企画展	
イ 常設展	
ウ 教育普及	
エ 収集・保管	
オ 調査研究	
(2) 令和2年度活動状況について	5
ア 企画展	
イ 常設展	
ウ 共催展等	
エ 教育普及	
オ 保存・修復	
カ 調査研究	
キ 所蔵作品貸出	
(3) 令和3年度活動計画について	13
ア 企画展	
イ 共催展等	
ウ 教育普及	
エ 保存	
オ 調査研究	
カ 所蔵作品管理	

- (4) 美術館収蔵庫等増設・改修事業について…………… 14
- (5) 令和2年度第1回、第2回収集部会の結果について

1 議題

(1) 美術館運営方針及び事業概要

①美術館運営方針

ア 基本理念

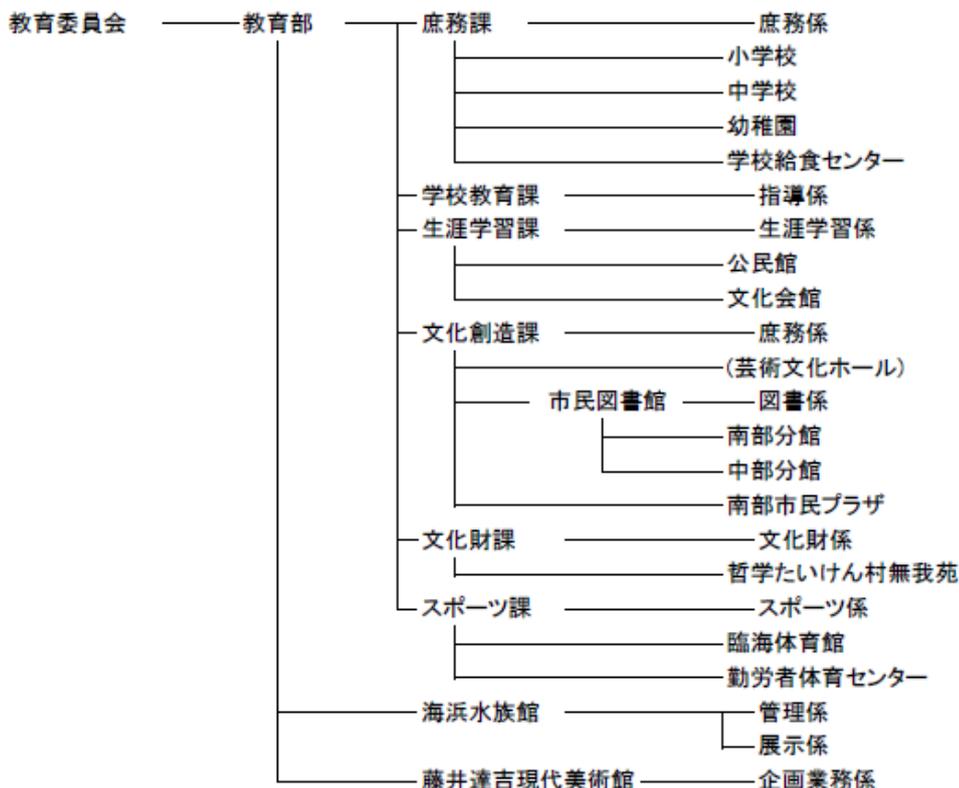
当地出身で日本近代工芸の先駆者のひとりであった藤井達吉の顕彰、子供たちを始め幅広い世代へ向けた教育事業、まちづくりの拠点施設としての役割という柱のもと、美術に関わる情報を発信し、生活の豊かさや心のゆとりをもたらす場として、市民に親しまれる美術館を目指します。

イ 基本的性格

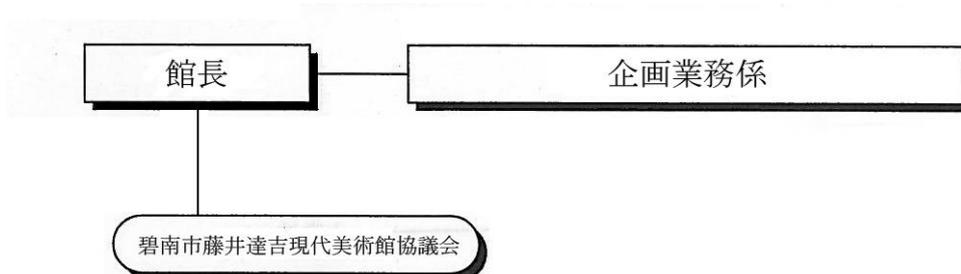
- (ア) 日本近代工芸の先駆者のひとりであった藤井達吉を顕彰します。
- (イ) 過去から未来までを常に視野に入れていた藤井達吉の精神を見出せる現代の作家を発掘し、若者に対する広場と創造の場として全国に発信します。
- (ウ) 新しい芸術を身近に提供することで市民の芸術文化の向上を支援し、子供たちの豊かで未知なる感性を伸ばして未来を見据える力を育てます。
- (エ) 地域の歴史や文化に焦点をあてた研究を行います。

ウ 組織

(ア) 行政組織図



(1) 組織体制



(ウ) 人員配置 (令和2年4月1日現在)

館長 会計年度任用職員 1 人
 副館長 課長級 1 人
 企画業務係 係長級 1 人 (事務員)、主事級 3 人 (学芸員)
 会計年度任用職員 1 人 (学芸員)、会計年度任用職員 1 人

エ 予算

令和2年度予算状況 (当初)

(単位：千円)

	美術館 事務管理 事業	美術館 協議会 運営事業	美術館 施設管理 事業	企画展 開催事業	美術品 運営事業	彫刻維持 管理事業	合計
予算	28,312	210	24,943	1,331	15,861	2,534	73,191
特定財源	0	0	0	1	0	0	1
一般財源	28,312	210	24,943	1,330	15,861	2,534	73,190

令和3年度予算要求状況

(単位：千円)

	美術館 事務管理 事業	美術館 協議会 運営事業	美術館 施設管理 事業	企画展 開催事業	美術品 運営事業	彫刻維持 管理事業	美術館 整備事業	合計
予算	27,366	210	25,161	5,263	5,156	1,981	57,648	122,785
特定財源	0	0	28	50	0	0	42,000	42,078
一般財源	27,366	210	25,133	5,213	5,156	1,981	15,648	80,707

オ 施設

建築概要

名称	碧南市藤井達吉現代美術館
所在地	愛知県碧南市音羽町一丁目1番地
敷地面積	2,143.16㎡
建築面積	820㎡
延床面積	2,425㎡
階数	地下1階、地上3階、塔屋1階
最高高さ	16.6m
工事種別	増築、用途変更
構造種別	鉄骨造、鉄筋コンクリート造
建築主	碧南市
設計監理	株式会社日本設計 名古屋支社
施工	(建築工事) 白竹建設株式会社 (電気設備工事) 衣浦電気工事株式会社 (空調設備工事) 株式会社桶元 (衛生設備工事) 株式会社榊原工業所

仕上げ	(屋根) 日本瓦一文字葺 シリコンポリエステル樹脂塗装カラーステンレス銅板 (外壁) 鋼製430ルーバー 施釉セッコ器質タイル (建具) アルミサッシュ (展示室) 床:タイルカーペット 壁:石膏ボード+調湿建材、ガラスクロスエマルジョンペイント 天井:エクスバンドメタル (収蔵庫) 床:ビニル床シート 壁:片面アルミフィルム張(庫内側)石膏ボード+調湿パネル 天井:片面アルミフィルム張(庫内側)石膏ボード+ロックウール化粧吸音板
電気設備	(電力引込) 架空引込方式1回線 (受変電設備) 三相3線式6,600V(屋外閉鎖型) 幹線 照明 単相 3線式 200/100V 200KVA 動力 三相 3線式 200V 300KVA 電話 引込 10回線 防災 自動火災報知設備、非常放送(兼用)
空調設備	(熱源) エネルギー:電気 装置:空気熱源ヒートポンプ (空調) 個別方式(展示室1、2、収蔵庫)、カセット式 (換気) 中央式(1種)、個別式(1種、3種) (排煙) 自然排煙方式、機械排煙方式
衛生設備	(給水) 上水(引込口径40、直結給水) (給湯) 個別式(電気)、貯湯式 (排水) 屋内排水分流式 屋外合流 屋外排水下水道放流(汚水、雑排水) (消火) 屋内消火栓、窒素ガス消火設備
昇降機	機械室レス 1基 (1000kg積 11人乗 45m/min W1.6m×D1.5m×H2.6m 車椅子仕様・視覚障害者仕様)

設備概要

展示保存環境

区分	設定温度 (目標値)	温度変化	設定湿度 (目標値)	湿度変化
展示室	22℃	±2℃	55%	±5%
収蔵庫	22℃	±2℃	55%	±5%

照明: 全て紫外線防止、調光可能。

区分	照明器具
展示室1、2、3	蛍光灯直接照明、スポットライト(着脱式)
展示ケース(展示室2)	蛍光灯、スポットライト(着脱式)
展示室4	スポットライト(着脱式)

作品展示: ワイヤーによる壁面展示、小型作品は壁面釘止め可能。
固定展示ケースのほか移動型展示ケース、移動型展示壁等保有。

区分	階数	床材	面積 m ²	天井高 m	床耐 荷重 kg/m ²	固定 壁長 m	可動 壁長 m	展示 ケース長 m
展示室1	2階	タイルカーペット	193	3.2~6.4	350	47.3	30.0	—
展示室2	2階	タイルカーペット	177	2.7	500	35.5	—	10.0
展示室3	1階	タイルカーペット	83	2.7	290	29.2	—	—
展示室4	B1階	タイルカーペット	104	2.6	500	26.7	—	—

区分	階数	備考
収蔵庫1	3階	78m ²
収蔵庫2	3階	70m ²
一時保管庫	1階	19m ²
荷解室	1階	56m ²
搬入口	1階	3.0×3.0m
昇降機	1台	兼用

区分	階数	備考
多目的室	1階	96m ² 展示室使用可
創作室	B1階	63m ²

防災設備・体制

防火	自動火災報知設備 屋内消火栓 窒素ガス消火設備(収蔵庫)
防犯	開館時には展示室内に常時監視員配置、閉館時には、機械監視警備。 監視カメラ(事務室でモニタ可能)

② 事業概要

ア 企画展

藤井達吉の顕彰にふさわしい企画のほか、美術の様々な領域を視野に入れて、優れた美術作品を市民に紹介していきます。また、地域の歴史や文化に焦点をあてた歴史系の企画展も定期的に行います。

<企画方針>

- (ア) 藤井達吉の創作活動を紹介する展覧会
- (イ) 藤井達吉の精神を反映した内容の展覧会
- (ウ) 地域の歴史や文化を顕彰する展覧会
- (エ) 市民の文化・教養の向上に資すると思われる展覧会

イ 常設展

藤井達吉に関わる作品及び資料の公開の場として運営します。また、地域に関わる歴史的資料の展示の場としても努めます。

ウ 教育普及

幅広い年代の人々に美術に親しんでもらえるよう、様々な教育普及事業に取り組み、美術情報の提供に努めます。学校教育をはじめ他の教育活動との連携を図っていきます。また、市民の創作活動の場として、市民ギャラリーも併設します。

エ 収集・保管

「市民の財産」といえるコレクションの形成に努め、その作品の恒久的な保存に努めます。

<収集方針>

- (ア) 藤井達吉の芸術を顕彰するに重要と思われる作品
- (イ) 藤井達吉の精神を見出せる作家の作品
- (ウ) 地域の歴史や文化を語るうえで重要と思われる作家の作品
- (エ) 市民の美術文化の向上に資すると思われる作品
- (オ) 上記の作品・作家を理解するうえで役立つ資料

オ 調査研究

美術館活動の充実を図るため、藤井達吉及び藤井と同時代の美術を中心として、国内外の美術に関することや、地域の歴史や文化に関する調査・研究に取り組んでいきます。

(2) 令和2年度活動状況について

ア 企画展

収蔵庫等増設・施設改修工事に伴う休館のため、企画展は開催していない。

イ 常設展

収蔵庫等増設・施設改修工事に伴う休館のため、企画展は開催していない。

ウ 共催展等

(ア) 第33回碧南市野外彫刻コンテスト入賞作品展（会場：文化会館）

会 期	令和2年11月28日（土）～12月11日（金） 12日間
会 場	碧南市文化会館 1階 展示室2
観覧者数	約160人（無料）（1日平均13.3人）

エ 教育普及

(ア) 子どもワークショップシリーズ（対象：小学生、会場：創作室）（102人）

	実施日	タイトル	参加者			
1	令和2年 4月19日（日） 4月26日（日） 5月17日（日） 5月24日（日） 6月14日（日） 6月21日（日）	新型コロナウイルス感染拡大防止により イベント中止	0人			
	2			令和2年9月26日（土）	絞り染め体験	9人
	3			令和2年10月11日（日）	ザ・えんぴつ	19人
	4			令和2年11月22日（日）	色鉛筆とクレヨンとパステル	19人
	5			令和2年12月13日（日）	秘伝 えのぐの極意	18人
	6			令和3年1月17日（日）	えのぐでコラージュ	18人
7	令和3年2月21日（日）	立体制作	19人			
8	令和3年3月21日（日）	かげ絵であそぼう				

(イ) 夏休みワークショップ (対象：小学生、会場：創作室) (46人)

	実施日	タイトル	参加者
1	令和2年7月25日(土)	シーサーをつくろう(外部講師)	10人
2	令和2年7月26日(日)	シーサーをつくろう(外部講師)	10人
3	令和2年8月19日(水)	マペットであそぼう	6人
4	令和2年8月20日(木)	マペットであそぼう	10人
5	令和2年8月23日(日)	親子でまきまき造形遊び(外部講師) (対象：3歳から小学2年生とその保護者)	10人

(ウ) 大人ワークショップシリーズ (対象：中学生以上、会場：創作室) (91人)

	実施日	タイトル	参加者
1	令和2年7月19日(日)	人物・動物のデッサン講座	8人
2	令和2年7月23日(木)	人物・動物のデッサン講座	7人
3	令和2年8月29日(土)	たのしい漫画・イラスト講座(外部講師)	3人
4	令和2年8月30日(日)	たのしい漫画・イラスト講座(外部講師)	7人
5	令和2年9月20日(日)	透視図法1	12人
6	令和2年10月18日(日)	透視図法2	10人
7	令和2年11月29日(日)	建物のパース	11人
8	令和2年12月20日(日)	メカニカルイラストレーション	10人
9	令和3年1月24日(日)	切り絵①	12人
10	令和3年2月28日(日)	ヒンメリをつくろう	11人
11	令和3年3月28日(日)	切り絵②	

(エ) 出前講座

実施日	令和2年9月3日(木)～令和3年2月4日(木) 延べ14日
対象	棚尾小学校2年4クラス(115人)・6年3クラス(113人)・特別支援学級(17人)、中央小学校 特別支援学級(16人)・4年生2クラス×2回(180人)・3年3クラス(88人)、棚尾達吉クラブ×2回(40人)、鷺塚小学校1年4クラス(109人) 延べ678人
内容	・棚尾小2年生(創作) 「はっけん くふう おもちゃ作り」の題材で、輪ゴムや磁石でお

もちゃを作り、出来たものを改良・工夫する楽しさを伝えた。

・棚尾小6年生（創作）

「私のお気に入りの場所」の題材で風景を描く。（卒業前の6年生に思い出深い小学校を見つめようという意図）風景を描くコツとして、たっちカード（※1）の作品から遠近法を伝え、「透視図法」を使った奥行き表現に挑戦した。

・棚尾小特別支援学級（創作）

藤井篠考案の「継色紙」の技法体験。

材質の異なる紙を手でちぎり、膠を接着剤として使用し筆で塗り貼り付けた。継色紙の上に墨汁で絵を描き、金・銀の粉末を振りかける表現を体験。作品を並べて鑑賞、個々の感想を発表した。

・中央小学校 特別支援学級（創作）

「雨音を表現しよう」の題材で、雨の音（水音の変化）を擬音語で発表し、実際に水面に落ちる雨の様子を観察。絵具で雨のイメージ（同心円の模様など）を描き作品を完成させた。

・中央小学校4年生（創作）

彫刻刀の安全な持ち方と彫りやすいコツの指導。

「不思議な花」を題材に、板全面を色版で摺った後、その色からイメージした不思議な花を描き、彫刻刀で輪郭線を線彫りし、絵を完成させた。

・中央小学校4年（鑑賞）

「たっちカード」で「YES・NOゲーム」を実施。4人グループの内1人が12枚の絵カードから1枚を選択。残りの3人が選んだ絵の特徴を単語で質問し、選択者はYES・NOで返答する。質問から選んだ絵を当てるゲーム。正解を絞り込むための質問の工夫や、絵の感想を個々に発言することで他者の意見を知る機会となり、にぎやかに実施できた。

・中央小学校3年（鑑賞）

たっちカードで「暗号を解読せよ」を実施。4人1組のグループで、1人が「言葉カード」を1枚引き、その言葉から連想できる3枚の絵カードを選択。残りの3人は引き当てた言葉を当てるゲーム。絵の鑑賞はそれぞれの感じ方があるため、簡単に伝わるものや伝えにくいものがあり、集中してゲームを楽しむことができた。他者の意見を聞き、互いの意見を尊重する大切さを考える機会となった。

・棚尾達吉クラブ

	<p>棚尾小学校玄関に設置の藤井篠の作品「しだ図」(昭和9年)を児童中心で復元したいとの要望から、藤井達吉が行っていた技法である芋版によるろうけつ染めを体験しながら作品鑑賞を実施。</p> <p>2時間目は、刺繍の技法と図案の植物を図鑑で調べるなどした。</p> <p>・鷺塚小学校1年(鑑賞)</p> <p>たっちカードで「伝書バト」ゲームを実施。座席縦1列が1グループとなり、先頭の児童がランダムに引いたカードの特徴を3つの単語にして後ろに伝える。最後の席の児童は聞き取った3つの言葉からカードを1枚選択し、先頭と最後のカードが一致すれば得点できるゲーム。コロナ対策で伝令の時は距離を取って相談出来るよう、手作りの紙筒を耳に当てて小声で伝えるなどの工夫を行った。</p> <p>(※1) たっちカード…美術館の所蔵作品を掲載した鑑賞用補助教材。美術館で制作・発行し、碧南市内の小中学校に配布。カードゲームを通して、作品の見方を深める授業を実施している。</p>
--	--

(オ) 美術館学習

実施日	令和2年9月7日(月)～令和2年11月5日(木)
対象	市内小学校5年生・中学校1年生(小学校7校・中学校5校)
内容	美術館の取り組み・施設紹介・藤井達吉《大島風物図屏風》を題材に鑑賞授業を実施(小学5年生686人・中学1年生695人) (※例年美術館での鑑賞授業だか、休館中のため学校での鑑賞授業を実施)

(カ) 美術館見学

実施日	令和2年9月1日(火)
対象	棚尾小学校2年
内容	美術館の建物(展示室などの室内)を見学(参加者児童114人)
実施日	令和2年9月3日(木)～令和2年9月4日(金)
対象	大浜小学校2年
内容	児童に美術館の仕事や施設の案内を行い、2年生生活科「町たんけん」の授業に協力しました。(参加者児童88人)

(キ) その他

実施日	令和2年6月27日(土)～令和3年3月13日(土) 毎月1日程度
内容	ZINE(手作りの冊子)制作(増改築中の美術館やその周辺の魅力を発

	信する事を目的とした有志市民による活動。) (参加者 27 人)
--	----------------------------------

実施日	令和 3 年 2 月 1 日 (月) ~ 3 月 31 日 (水) の間で 90 時間 (15 日程度)
内 容	学芸研修生 1 名の受け入れ (展覧会業務、教育普及事業、所蔵作品整理の補助等)

オ 保存・修復

(ア) 美術館生物生息調査

調査期間	令和 2 年度 通年
調査場所	美術館全館
調査内容	粘着式トラップによる歩行性虫生息調査
調査結果	展示室及び収蔵庫での生息や発生は現在確認されていません。今後も清潔な環境維持に努めます。

(イ) 害虫獣防除作業

調査期間	令和 2 年 7 月 18 日
実施場所	収蔵庫を除く全館
実施対象	ゴキブリ、ハエ、ネズミ等
実施内容	ハンドスプレーヤによる残留噴霧 (スミチオン乳剤)、ULV 器、炭酸ガス製剤 (ミラケン S) による空間噴霧、アクチゾール器による隙間処理、調査トラップによる害虫生息調査
実施結果	喫茶厨房において害虫の生息及び発生が見られたため、侵入源となる隙間を遮断、誘因物を除去し、対策を行いました。

(ウ) 空気環境モニタリング

調査期間	令和 2 年 8 月 17 日 ~ 8 月 24 日
調査場所	収蔵庫前室・1・2、展示室 1・2・3・4、展示室 2 内エアタイト展示ケース、多目的室、一時保管庫
調査内容	粘着式トラップ及びフェロモントラップによる害虫生息調査、浮遊真菌測定、床・壁面の付着真菌測定、浮遊粉塵数測定を行いました。

(エ) 収蔵庫環境調査

調査期間	令和2年12月9日
調査場所	収蔵庫前室・1・2
調査内容	粘着式トラップ及びフェロモントラップによる害虫生息調査、浮遊真菌測定、床・壁面の付着真菌測定、浮遊粉塵数測定を行いました。

(オ) 保存箱及び汎用額作成

実施期間	令和3年2～3月
対象	箱の付属しない作品を中心とした計48作品
内容	現状で箱等の付属していない作品の保存のために桐及び中性紙による保存箱を作成しました。

実施期間	令和3年3月
内容	貴重かつ繊細な作品の展示及び保存のため汎用額5点を作成しました。

(カ) 野外彫刻状態調査

実施期間	令和2年9月
対象	堀内正和《進む形》、佐藤忠良《ジーンズ・夏》、小田襄《風景の調和》、山本正道《樹と少女》、加藤昭男《とのさまバッタ》、向井良吉《碧南》、黒川晃彦《ロンド》、加藤知彦《わらべの詩》、カレン・ストッカー《渚・小さい波》、張琪《風景》、チャールズ・ウォーゼン《鉄・鉄》、エリザベス・マクダウェル《SEA（海）》
内容	喫緊に修復が必要な彫刻はなかったものの、経年劣化や変化に対応するため、計画的に修復を実施していく予定です。

(キ) 野外彫刻メンテナンス

実施期間	令和2年9月、12月、令和3年2月
対象	佐藤忠良《ジーンズ・夏》、黒川晃彦《ロンド》
経緯	雨だれ、大気汚染、栄巣、糞害、悪戯などによる変化がみられたため

内 容	前回までのコーティングを除去し、洗浄したのち、再コーティングを行いました。
-----	---------------------------------------

(ク) 収蔵作品脱酸素処理

実施期間	令和3年3月（予定）
対 象	令和2年度収蔵の資料約150点
経 緯	寄贈作品に虫害の発生がみられたために実施。
内 容	シーリングしたフィルム内に作品と脱酸素剤を入れ、酸素濃度を0.1%以下に保ち約10週間密閉し害虫を駆除します。

カ 調査研究

(ア) 発表

- ・第68回全国博物館大会 令和2年11月26日 於横浜市開港記念会館
分科会3「身近に迫る危機への備え」講師 安藤里恵（当館学芸員）

(イ) 発行

- ・研究紀要の発行

キ 所蔵作品貸出

貸出作品	富岡鉄斎《老子過関図》
貸出目的	「近代を生きた土佐派絵師 栗田真秀」展出品のため
貸 出 先	朝日町歴史博物館（令和3年1月16日～2月14日）
貸出期間	令和3年1月8日～2月17日

所蔵作品画像貸出

貸出作品	佐々木豊《カルメンライダー》
貸出目的	中学校美術資料集「表現と鑑賞」愛知県版掲載のため
貸 出 先	開隆堂出版株式会社
貸出期間	令和3年度発行予定

貸出作品	藤井達吉現代美術館寄託 藤井達吉《大島風物図屏風》
貸出目的	「伊豆大島文学・紀行集」第4集絵画編に記載のため
貸出先	藤井工房 藤井虎雄
使用期間	令和2年度刊行予定

貸出作品	荻須高德《バンバラ城》
貸出目的	「生誕120年記念 荻須高德展 ー私のパリ、パリの私ー」 展出品のため
貸出先	稲沢市荻須記念美術館
使用期間	令和3年8月下旬から令和4年3月下旬まで

貸出作品	石川三碧コレクション 浦上玉堂《山水図》、浦上玉堂《溪村夜雨図》
貸出目的	「浦上玉堂関係叢書 玉堂父子の藝術編」に掲載のため
貸出先	岡山県立美術館 館長 守安収
使用期間	令和3年3月刊行予定

貸出作品	藤井達吉現代美術館寄託 藤井達吉《大島風物図屏風》左隻
貸出目的	日本経済新聞朝刊の美術記事「美の粋」 （「伊豆大島と美術家たち」仮題）に掲載のため
貸出先	日本経済新聞社 文化部 編集委員 吉田俊宏
使用期間	令和3年2月14日、21日の2回にわたる伊豆大島の美術特集のうち2月21日に掲載

※令和2年度の観覧者等実績

観覧者数計：0人（企画展：0人、常設展：0人、共催展等：0人）

教育普及：子どもWS148人(2/28現在)、大人WS91人(2/28現在)、美術館学習
1,381人、出前講座（創作／鑑賞）678人

(3) 令和3年度活動計画について

ア 企画展

(ア) いのちの移ろい展

会 期	令和3年4月29日(木・祝)～6月20日(日) 46日間
概 要	私たちは新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の出来事を経験し、<いのち>のはかなさと、その重みを否応なく実感した。本テーマ展は、<こころ>と同様、平明な言葉でありながらも、私たちに深い洞察を求める<いのち>について考えるために開催する。

イ 共催展等

(ア) 第14回碧南文化協会選抜美術展

会 期	令和3年7月3日(土)～7月11日(日) 9日間
-----	--------------------------

(イ) 野外彫刻絵画コンテスト入賞作品展(会場:文化会館)

会 期	令和3年11月27日(土)～12月10日(金) 14日間
-----	------------------------------

ウ 教育普及

市内小中学校への出前講座、市民が参加できるワークショップを定期開催します。また、公募市民と一緒に美術館や周辺のまちの様子をお知らせする「ZINE(ジン:手作りの雑誌)」をつくる活動を昨年度に引き続き行います。

エ 保存

館内の空気環境調査や文化財害虫生息調査を実施し、作品の安定的な管理に努めます。重篤な傷みのある作品に対しては順次修復を実施します。

オ 調査研究

藤井達吉及び藤井の同時代の美術を中心とした調査、ならびに各企画展実施に向けた調査研究を行います。

カ 所蔵作品管理

所蔵作品の内容、状態、画像等をすべてシステム化し、データ管理を進めます。

(4) 美術館収蔵庫等増設・改修事業について

当館は令和2年2月24日を最後に収蔵庫等増設工事のため休館に入り、令和3年10月1日のリニューアルオープンを目指して準備を進めてまいりました。しかし、令和元年12月に行われた収蔵庫等増設・改修工事の入札が不調となり工事の着工ができないまま、令和2年2月25日から現在まで休館となっています。早期の開館を目指し、令和2年6月補正予算にて収蔵庫等増設・改修事業を計上する予定でしたがコロナ禍のため見送り、令和3年度当初予算の計上を目指しています。

このことから、当初予定していた令和3年10月1日のリニューアルオープンから約1年半後の令和5年4月のオープンを目指し準備を進めています。

今後の予定につきましては判明次第、ホームページ等を通じて情報発信してまいります。

●美術館整備事業

ア 美術館収蔵庫等増設・改修事業

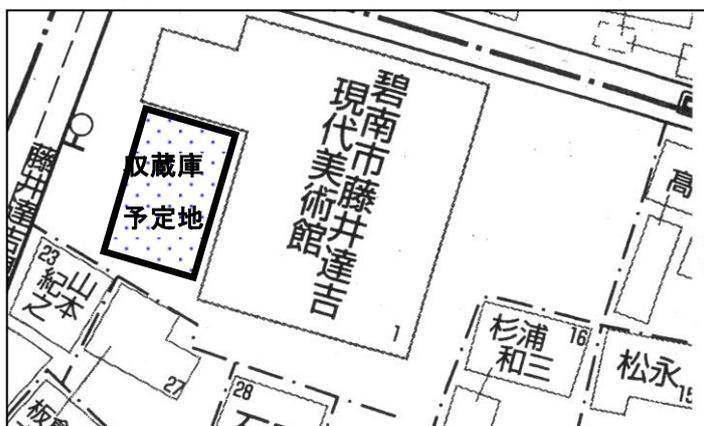
(ア) 目的

美術館では開館以来、非常に多くの篤志家から美術作品等の寄贈や寄託があり、収蔵庫内は飽和状態となっている。今後も収蔵作品数は増え続けることが予想されるため、収蔵庫の増設を行う。

また、この休館期間を利用し、既存施設の経年劣化による長寿命化対策、施設規模に合わせた消防法適法化対策などの改修工事を行う。

(イ) 増設場所

美術館喫茶室の南側（現在の駐車場箇所）



(ウ) 増設部の施設概要（予定）

- a 階数 地下1階、地上3階
- b 構造 鉄筋コンクリート造（既存部と同じ）
- c 建築面積 増築面積 144.24 m²（既存部 820.36 m²、合計 964.60 m²）
- d 各階の主な用途
 - 3階 収蔵庫
 - 2階 収蔵庫（展示室）、前室
 - 1階 搬入スペース（トラックヤード）、荷解室、倉庫、保存修復室
 - 地下1階 閉架書庫、空調機械室、館長室兼応接室

e 各階の延床面積

階別	増築部分	既存部分	合計
屋上	—	19.39 m ²	19.39 m ²
3階	133.18 m ²	361.56 m ²	494.74 m ²
2階	161.47 m ²	671.59 m ²	833.06 m ²
1階	134.87 m ²	671.68 m ²	806.55 m ²
地下1階	123.02 m ²	657.76 m ²	780.78 m ²
合計	552.54 m ²	2,381.98 m ²	2,934.52 m ²

(エ) 改修事業の概要

- a 温湿度対策、結露防止対策などのための修繕
- b 消防法適合のための消火設備工事
- c 2階展示室入口に自動扉の設置など

イ 収蔵庫等増設・改修事業の今後のスケジュール（予定）

令和2年度 令和3年度当初予算要求

令和3年度 10月頃収蔵庫等増設・改修工事

令和4年度 10月頃工事完了

令和5年度 4月頃 リニューアルオープン

※令和2年2月25日から令和5年度4月頃まで休館

収蔵庫棟完成イメージ図



- (5) 令和2年度第1回、第2回収集部会の結果について
別添資料参照